

事務事業マネージメントシート

作成日 平成24年 05月 14日

事務事業名	市政功労者表彰式典実施事業				担当	総務部 秘書課 秘書政策係				
政策名	H	施策体系外					電話番号	0285-83-8098		
施策名	1	施策体系外の事業					<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名										
法令根拠	真岡市表彰条例					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
予算科目	1.一般会計	2.総務費	1.総務管理費	1.一般管理費			<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S3 2 年度~)			
事業概要	本市の行政、教育、文化、産業、経済、社会事業及びその他の公益事業に関して、著しい功績のあった者を10月1日の市制施行記念日に表彰し、その功績をたたえる。また、市に對し多額の金品を寄付した者や、道徳上の美挙をなし他の模範となる者についても同様に表彰する。表彰は、表彰状と記念品を授与して行う。									

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動) 23年度実績 各課からの内申に基づき表彰審査委員会を開催し被表彰者を決定。議員市政功労者要職者等を招待し市民会館で表彰式典を開催。	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移						
	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
24年度計画 平成23年度と同じ。	ア 内申人数	人	31	23	25	44	45
	イ						
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 被表彰者 式典参加者	ウ						
	エ						
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 様々な分野で功績を挙げた方々を顕彰する。	オ						
	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移						
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) 市民の市政に対する意識の高揚。	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	ア 被表彰者数	人	31	23	25	44	45
⑤上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移	イ 式典参加者数	人	178	203	186	183	190
	ウ						
⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移	エ						
	オ						
⑦上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	ア 市政功労者の総数	人	1244	1267	1292	1336	1381
⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移	イ						
	ウ						
⑨上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移	エ						
	オ						

② 総事業費の推移	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
投 入 量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	342	293	305	856
	事業費計(A)	千円	342	293	305	856
人 件 費	正規職員従事人數	人	2	2	2	0
	延べ業務時間	時間	40	40	40	0
	人件費計(B)	千円	167	162	171	170
トータルコスト(A)+(B)		千円	509	455	476	1,026

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か? いつごろどんな経緯で開始されたのか?	多年にわたり各分野で市政の発展に功績を挙げた方々、及び市に多額の寄付をした団体及び個人を広く顕彰するため。
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市政の各分野で功労のあった者を表彰することは、市政の発展や公益の増進に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市政の発展に功労のあった者の表彰である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 被表彰者の基準は条例による。招待者については、市民各層の代表者を対象としている。 表彰については、基準を満たすことが前提であり、被表彰者数を拡大・縮小する余地はない。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 基準を設けて表彰している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 功労者を顕彰できなくなり、市民意識の低下を招くおそれがある。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない 類似事業はない。
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 被表彰者への表彰状作成費用及び記念品（銀杯）の費用のみである。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 表彰式典開催に必要な最低限の人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市が表彰するものであり受益者負担になじまない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）																								
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																								